

修了生の活躍事例

溶接の迫力に心を奪われこれだと思 いポリテクへ！

前職は販売員として働いていましたが失業したことをきっかけに何か手に職をつけて働きたいと考えていました。父や義父が金属加工の仕事をしていたことから興味があったので、ハローワークに相談したところ、ポリテクセンターを紹介していただきました。

施設見学会で先生が溶接のすばらしいデモンストレーションを見せてくださり、自分もやってみたいと思入所しましたが、実際にやってみるとその難しさを実感し、奥の深さを感じました。ポリテクセンターでは基礎を中心に幅広い内容を教えていただきましたが、この期間がなければ会社で通用しなかったと思っています。

技能コンクールに出場して金賞を！

ポリテクセンターで習った溶接の基礎を活かして日々溶接を行っています。同じグループの先輩の溶接技能が高く、その先輩の溶接作業の音を聞いたり、仕上がりを見たりしています。もっと自分の技能を高めて、職人として力をつけていき、いずれは技能コンクールに出場し、金賞をもらえるよう頑張っています。

株式会社 ムラキ

大久保 稚史 (38)

[⇒ 前職 : 販売員]

金属加工技術科

(7か月訓練)

平成30年12月 入所
令和元年6月 修了



ポリテクセンターでの受講を考えられている方へ。

もし訓練受講を悩んでいるのであれば思い切って飛び込んでみてください。私はポリテクセンターでの6か月間は充実していて、あっという間に過ぎてきました。訓練中は勉強と併せて自分自身を考えるきっかけにもなります。

私がしている金属加工、特に溶接の仕事は1000℃を超える金属を目の前で扱う、ものづくりを実感できるやりがいのある仕事です。火花が飛ぶので怖そうに思われている方も、興味がある方は飛び込んできてもらいたいです。

就職先企業での活躍

大久保さんの業務

大手住宅メーカーの住宅建材を作成する工場ラインの中で、今は屋根を支える建材の溶接を行っています。

製品によって溶接の箇所が異なったり、板の厚さなどの条件が変わってくるので、それに対応して溶接する必要があるのが難しいところです。



上長の声 ライン長 小林 様

入ってまだ半年ほどですが、会社にすっかりなじんで戦力として活躍してくれています。弊社は従業員の「挑戦したい」という気持ちを尊重しており、希望者にはコンクールにどんどんチャレンジしてもらっています。大久保さんの周りには受賞者が沢山いるので、先輩方に習って技にますます磨きをかけ、まず社内の予選を勝ち抜き本選出場を果たし、金賞目指してこれからも頑張ってください！！



株式会社ムラキ (奈良県奈良市)

現在ポリテクの修了生4名が活躍

弊社は、大和ハウス工業株式会社の協会社として大和ハウスの家づくりの一翼を担っており、家の骨組みである鉄骨の加工をしています。工場内で作業するほとんどの社員が溶接作業に従事しています。手溶接だけでなく、ロボット溶接も行っており、ロボットへの指示出し、また材料となる鉄骨を必要な形や長さ加工するため線材加工装置への指示出し等、鉄骨部材から家の骨組み部材になるまでの加工を行っています。創業以来守り続けている、お客様への『安心』と従業員の『安全』をこれからも大切に、大和ハウスの家づくりに貢献してまいります。

